

不二健育会 特別養護老人ホーム ケアポート板橋

鈴木 穰 (職種 / 主任介護支援専門員 / 所属部署 包括)

功 績 令和5年度おとしより保健福祉センター管理係事業評価表において、鈴木センター長を中心とした舟渡地域包括支援センターの事業実践事例が、他センターの手本となることや、高齢者福祉に大きく貢献するような独自の取り組みを展開していると評価を受ける。令和6年度事業委託費が昨年度対比、3,489千円増の42,905千円と大きく増収に繋げることができた功績。

推 薦 者 宇津木忠 (ホーム長)

推 薦 理 由 舟渡包括館内における高齢者 (7,879名) の総合相談窓口としての多望な業務の中、委託事業も年々増加傾向にあります。相談援助職という専門性を持ち、地域貢献、チームの取り纏め、リーダーシップを発揮し、事業所の評価に大きく貢献したのみならず、地域からも舟渡包括の評判はよく、不二健育会のアウトブランディングの一助となっております。

鈴木の創り上げてきたネットワークやチームは、施設理念「地域の要」そのものであり、その功績は他職員・包括の手本となると考え、推薦させていただきます。

内 容

鈴木は舟渡おとしより相談センター (おとしより相談センター) のセンター長を長年担っており、包括圏域における様々な事業を牽引しながら、相談支援・権利擁護、ケアマネジメント支援、医療看護連携を実践しています。

令和4年度より地域包括支援センターにおいては事業評価制度が導入され、委託事業における計画作成及び評価が4段階となり、自己評価及び行政評価が入る仕組みとなりました。

受託法人連絡会におけるヒアリングでは、自己評価票を基に事業実施状況を一包括毎に説明しますが、舟渡包括においては9カテゴリーにおける全ての項目において、具体的な施策・実行がなされていると口頭評価頂き、特に2年前にTQM活動で取り組んだ「ひとりぐらし高齢者見守り対象者名簿の全登録者の状況把握」については対策を継続しており、257件/321件 (80%) の実践と、新規ご利用者10名に対する訪問は100%であったことを評価して頂きました。

また、虐待通報があったケースについて「板橋区高齢者虐待対応マニュアル」に基づき、同行訪問3件、通報票計10件の作成。包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、認知症総合支援事業においては、圏域小中学校5校における認知症サポーター要請講座や高齢者支援の出前講座を、法人内で委員会を取り仕切りチームで実践したことも、大きく評価されています。

他にも総合支援事業におけるこども食堂年12回実施への参画、地域ケア会議推進事業におけるAIP事務局機能を担い、板橋区社会福祉協議会と連携しながらのスポット事業など、鈴木を中心とした独自の取り組みは、他包括にも取り入れられるべきであると評価を頂き、委託料の金額上昇に寄与しました。